

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立川之江高等学校（全日制）

学校番号（ 1 ）

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 12 日（ 木 ）	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	進藤 誠	川之江高等学校PTA会長	
	篠原 裕和	川之江高等学校前PTA会長	
	川崎 奈見	川之江高等学校元PTA会長	
	永尾 周三	四国中央市立川之江北中学校長	
	篠原 隆輔	四国中央市立川之江南中学校長	
評 価 ・ 提 言 等			
1 学習指導		提言等に対する改善方策等	
・ 家庭学習時間の少なさが課題。学校として重点的に取り組んでみてはどうか。 ・ 授業は静かだが、主体的学習になっているか検証が必要。 ・ 表現力・コミュニケーション力の育成が重要。		・ 家庭学習時間の具体的目標設定を考える。 ・ 対話的活動の充実を図り、授業改善の効果検証を行う。 ・ 言語活動を意識した授業実践を推進していく。	
2 進路指導・キャリア教育			
・ 早期から目標を持たせる指導が必要。 ・ 具体的数値を示した指導を。 ・ ボランティア活動と進路の関連付けを。		・ 1年次からの計画的進路指導の充実を考える。 ・ 進路実績を踏まえた目標の明確化を図る。 ・ ボランティアの意義を体系的に周知する取組を強化する。	
3 生徒支援・健康			
・ 面談時間の確保。 ・ 欠席理由（体調不良）の背景把握。 ・ 朝食摂取率の向上。		・ 業務の効率化を進め、面談体制の充実を図る。 ・ 生徒や保護者の困り感に耳を傾け、家庭連携の強化と丁寧な状況把握を行う。 ・ 健康教育を推進する。	
4 その他			
・ ボランティア参加の固定化傾向。 ・ 中高連携の継続・充実。		・ 未参加生徒への働きかけを強化する。 ・ 今後も中高交流事業を継続し発展させる。	